



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月12日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6418 URL http://www.jcm-hq.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400  
 経営企画本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	23,608	4.3	1,863	21.7	2,158	27.4	1,237	△34.9
30年3月期第3四半期	22,635	△1.7	1,531	△5.7	1,693	7.8	1,901	68.5

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 881百万円 (△53.4%) 30年3月期第3四半期 1,890百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	41.75	-
30年3月期第3四半期	65.24	65.22

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	39,947	33,238	83.2	1,121.33
30年3月期	40,377	32,874	81.4	1,108.57

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 33,238百万円 30年3月期 32,860百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	8.50	-	8.50	17.00
31年3月期	-	8.50	-	-	-
31年3月期(予想)	-	-	-	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	3.8	1,900	38.5	2,030	76.2	1,100	19.0	37.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	29,662,851株	30年3月期	29,662,851株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	21,125株	30年3月期	21,056株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	29,641,785株	30年3月期3Q	29,141,994株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、主要国間の貿易摩擦問題により景気に及ぼす影響が懸念されましたが、米国・欧州ともに総じて底堅く推移いたしました。また、国内経済は、相次ぐ自然災害による経済活動に対する影響は収束しつつあり、企業収益や個人消費は持ち直しの動きを示しましたが、景気は回復の力強さに欠ける状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境について、ゲーミング市場では、北米地域における減税政策による影響とみられるカジノホールの設備投資の活況に加え、欧州地域でも旺盛な需要がみられました。また、コマース（金融・流通・交通等）市場では、アジア地域における需要は軟調に推移したものの、日本国内では安定的な需要がみられました。一方、日本国内を対象とする遊技場向機器市場では、業界における規制強化の影響から設備投資の抑制状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは、ゲーミング市場向けには、紙幣識別機ユニットや新規商材の販売に積極的に努め、市場シェアの維持・拡大に取り組むとともに、コマース市場向けには、国内外の市場ニーズ等を反映した高付加価値製品の販売拡大を進めました。また、遊技場向機器市場では、厳しい環境下において積極的な販売活動を展開し、受注の確保に努めました。

以上の取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は236億8百万円（前年同四半期比4.3%増）となりました。利益面については、営業利益は18億63百万円（前年同四半期比21.7%増）、経常利益は、外貨建資産に係る為替時価換算差益の計上などもあり、21億58百万円（前年同四半期比27.4%増）となりました。しかしながら、当社グループが保有する商標権の減損損失を計上したこと（詳細は本日公表した「特別損失計上のお知らせ」をご参照ください。）や、前年同四半期には特別利益（受取和解金）を計上していたことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億37百万円（前年同四半期比34.9%減）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドル109.64円（前年同四半期は111.81円）、ユーロは130.66円（前年同四半期は125.25円）で推移いたしました。また、当第3四半期連結会計期間末の時価評価に適用する四半期末日の為替レートは、米ドル111.00円（前連結会計年度末は106.31円）でありました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ①グローバルゲーミング

北米地域における旺盛な買替需要が継続し、また、欧州地域での紙幣識別機ユニット等の販売が好調であったことなどにより、当セグメントの売上高は132億78百万円（前年同四半期比17.2%増）、セグメント利益は30億57百万円（前年同四半期比41.6%増）となりました。

## ②海外コマース

北米地域及びアジア地域における販売が低調であったことなどにより、当セグメントの売上高は26億78百万円（前年同四半期比8.3%減）、新製品の研究開発費が増加したことなどにより、セグメント損失は4百万円（前年同四半期は4億47百万円の利益）となりました。

## ③国内コマース

OEM顧客向けの貨幣処理機器ユニット等の販売が増加したことなどにより、当セグメントの売上高は21億38百万円（前年同四半期比13.6%増）、セグメント利益は2億60百万円（前年同四半期比12.8%増）となりました。

## ④遊技場向機器

メダル自動補給システムなどの主力製品の販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は55億12百万円（前年同四半期比15.2%減）、セグメント損失は1億65百万円（前年同四半期は87百万円の利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億29百万円減少し、399億47百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて5億5百万円増加し、276億87百万円となりました。「商品及び製品」が8億59百万円減少した一方、「現金及び預金」が12億28百万円、「受取手形及び売掛金」が4億27百万円それぞれ増加いたしました。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて9億35百万円減少し、122億60百万円となりました。「のれん」等の無形固定資産の償却が進んだこと及び商標権について減損処理を行ったことにより、無形固定資産が8億18百万円減少いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億93百万円減少し、67億9百万円となりました。「支払手形及び買掛金」が3億65百万円、「賞与引当金」が2億19百万円、「事業構造改善引当金」が1億33百万円、それぞれ減少いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3億63百万円増加し、332億38百万円となりました。「その他有価証券評価差額金」が2億37百万円、在外子会社の時価評価による「為替換算調整勘定」が1億18百万円それぞれ減少した一方、利益剰余金が7億33百万円増加いたしました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ11億17百万円増加し、100億6百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、21億4百万円の資金の増加となりました。税金等調整前四半期純利益18億16百万円、たな卸資産の減少7億72百万円などの資金の増加を計上した一方、売上債権の増加4億18百万円などの資金の減少を計上いたしました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億8百万円の資金の減少となりました。定期預金の預入による支出1億11百万円、有形固定資産の取得による支出3億84百万円などの資金の減少を計上いたしました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローでは、5億33百万円の資金の減少となりました。配当金の支払額5億3百万円などの資金の減少を計上いたしました。

また、これらのほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額55百万円の資金の増加がありました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、海外のゲーミング及びコマース市場を担当する海外子会社の決算を現在集計中ですが、特にゲーミング市場については良好な販売環境が追い風となり、好調な業績を見込んでおります。最終四半期に入った日本国内の市場につきましては、遊技場向機器市場では、設備投資の停滞が続いており、業績の大幅な伸長は難しい状況にありますが、コマース市場では、大手OEM先を中心に着実な需要の確保を見込んでおります。

以上を踏まえ、平成31年3月期の通期業績予想数値につきまして、平成30年11月6日付にて発表した予想数値を、以下のとおり修正いたします。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	30,000	1,550	1,800	1,050	35円42銭
今回修正予想 (B)	31,000	1,900	2,030	1,100	37円11銭
増減額 (B) - (A)	1,000	350	230	50	—
増減率 (%)	3.3	22.6	12.8	4.8	—

なお、一昨年(平成30年)の11月13日付にて発表いたしました「新中期経営計画」ローリングプラン(Ⅲ)につきましては、「ローリングプラン(Ⅳ)」として引き続き策定作業を行っており、策定完了後、速やかに公表する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,908,786	10,137,743
受取手形及び売掛金	6,373,385	6,800,848
有価証券	90,553	34,349
商品及び製品	7,643,992	6,784,893
仕掛品	557,802	681,068
原材料及び貯蔵品	2,957,304	2,900,128
その他	844,838	519,084
貸倒引当金	△194,891	△170,950
流動資産合計	27,181,771	27,687,165
固定資産		
有形固定資産	4,967,151	5,008,923
無形固定資産		
のれん	2,052,272	1,910,783
技術資産	301,341	239,905
顧客関連資産	3,011,584	2,807,171
商標権	404,088	—
その他	130,028	122,782
無形固定資産合計	5,899,315	5,080,643
投資その他の資産		
その他	2,383,576	2,225,263
貸倒引当金	△54,690	△54,690
投資その他の資産合計	2,328,886	2,170,573
固定資産合計	13,195,353	12,260,140
資産合計	40,377,125	39,947,305
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,291,816	2,926,508
未払法人税等	776,180	753,886
賞与引当金	391,096	171,956
役員賞与引当金	12,000	9,000
事業構造改善引当金	133,930	—
その他	2,330,660	2,467,061
流動負債合計	6,935,683	6,328,413
固定負債		
その他	567,330	380,834
固定負債合計	567,330	380,834
負債合計	7,503,014	6,709,248
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,759,048	2,759,065
利益剰余金	27,515,256	28,248,855
自己株式	△19,010	△19,111
株主資本合計	32,472,240	33,205,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	443,467	206,455
為替換算調整勘定	△55,580	△174,153
その他の包括利益累計額合計	387,886	32,302
新株予約権	13,984	—
純資産合計	32,874,111	33,238,057
負債純資産合計	40,377,125	39,947,305

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	22,635,467	23,608,359
売上原価	13,808,809	14,445,916
売上総利益	8,826,657	9,162,443
割賦販売未実現利益戻入額	37,857	43,611
割賦販売未実現利益繰入額	11,420	12,766
差引売上総利益	8,853,094	9,193,287
販売費及び一般管理費	7,322,090	7,329,541
営業利益	1,531,003	1,863,745
営業外収益		
受取利息	2,194	5,761
受取配当金	15,882	19,269
為替差益	148,920	213,570
その他	24,336	58,412
営業外収益合計	191,333	297,013
営業外費用		
支払利息	26,444	467
その他	2,286	2,223
営業外費用合計	28,731	2,691
経常利益	1,693,605	2,158,068
特別利益		
固定資産売却益	327	983
投資有価証券売却益	3,786	9,450
受取和解金	2,236,200	—
新株予約権戻入益	—	13,984
特別利益合計	2,240,314	24,417
特別損失		
固定資産売却損	2,602	—
固定資産除却損	3,897	1,473
訴訟関連費用	482,304	—
事業整理損	328,267	—
減損損失	—	364,210
特別損失合計	817,071	365,684
税金等調整前四半期純利益	3,116,847	1,816,801
法人税、住民税及び事業税	1,199,008	704,573
法人税等調整額	16,597	△125,283
法人税等合計	1,215,605	579,290
四半期純利益	1,901,242	1,237,510
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,901,242	1,237,510

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	1,901,242	1,237,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	280,981	△237,011
為替換算調整勘定	△291,554	△118,572
その他の包括利益合計	△10,572	△355,584
四半期包括利益	1,890,670	881,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,890,670	881,925
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,116,847	1,816,801
減価償却費	719,650	680,479
のれん償却額	141,860	139,895
引当金の増減額(△は減少)	△218,732	△375,996
受取利息及び受取配当金	△18,076	△25,030
支払利息	26,444	467
為替差損益(△は益)	△129,259	△188,606
有形固定資産除売却損益(△は益)	6,172	490
減損損失	—	364,210
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,786	△9,450
新株予約権戻入益	—	△13,984
受取和解金	△2,236,200	—
訴訟関連費用	482,304	—
事業整理損	328,267	—
売上債権の増減額(△は増加)	△524,299	△418,335
たな卸資産の増減額(△は増加)	△134,532	772,269
仕入債務の増減額(△は減少)	435,664	△352,673
未収消費税等の増減額(△は増加)	△16,241	219,563
その他	△61,511	296,878
小計	1,914,571	2,906,980
利息及び配当金の受取額	17,558	23,927
利息の支払額	△26,444	△467
和解金の受取額	2,236,200	—
訴訟関連費用の支払額	△475,438	—
法人税等の支払額	△306,690	△826,039
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,359,757	2,104,401
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△111,060
有価証券の純増減額(△は増加)	109	△157
有形固定資産の取得による支出	△558,207	△384,523
有形固定資産の売却による収入	8,508	1,545
無形固定資産の取得による支出	△29,865	△23,242
投資有価証券の取得による支出	△1,571	△1,929
投資有価証券の売却による収入	4,834	11,205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△576,191	△508,162
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△3,220,522	—
配当金の支払額	△495,691	△503,630
リース債務の増加による収入	1,605	—
リース債務の返済による支出	△59,646	△29,966
自己株式の取得による支出	△193	△160
自己株式の売却による収入	—	76
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	3,279,300	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△495,148	△533,681
現金及び現金同等物に係る換算差額	101,197	55,400
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,389,614	1,117,956
現金及び現金同等物の期首残高	7,146,931	8,888,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,536,546	10,006,743

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,331,375	2,920,605	1,882,865	6,500,621	22,635,467	—	22,635,467
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,331,375	2,920,605	1,882,865	6,500,621	22,635,467	—	22,635,467
セグメント利益	2,158,465	447,993	230,767	87,058	2,924,284	△1,393,281	1,531,003

(注)セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,278,627	2,678,387	2,138,904	5,512,440	23,608,359	—	23,608,359
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,278,627	2,678,387	2,138,904	5,512,440	23,608,359	—	23,608,359
セグメント利益又 は損失(△)	3,057,352	△4,823	260,411	△165,520	3,147,419	△1,283,673	1,863,745

(注)セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

グローバルゲーミングセグメントにおいて、364,210千円の減損損失を計上しております。